

基本目標5：学びと文化で未来の人財を創る(仮)

## 施策23 学校教育～学校教育環境を整備し、個に寄り添う教育活動を実施します～

### 現状と課題【学校教育課、学校給食センター、教育総務課】

- 子どもたちの自己肯定感を高めて変化の激しい社会で生き抜く力を育てる必要があります。
- 学校は、児童生徒の多様化する問題を家庭と連携して解決することなど、学習だけでなく、家庭生活も含め、より専門的で総合的な役割が期待されています。
- 激しい社会環境の変化の中で、学校や子どもを取り巻く問題は複雑化・困難化しており、それに対し、社会総掛かりで対応することが求められています。
- 教育課程の改訂に併せて、授業時間の増加や新しい教科に教員が対応する必要があります。
- 国が提唱するSociety5.0<sup>\*1</sup>時代を生きる子どもたちに必要な情報活用能力を育成するため、ICT<sup>\*2</sup>環境を整備することが求められています。
- 児童生徒数や社会状況の変化を見据え、学校教育施設・設備の老朽化に対応し、安全に利用できるための計画的な施設管理や整備が求められています。

### 施策が目標とするまちの姿【学校教育課、学校給食センター、教育総務課】

- ◇児童生徒一人ひとりが社会とのつながりを実感しながら、社会状況の変化に対応して生き抜く力を身に付けています。
- ◇新たな次代を担う人材を育てるための環境が整備され、支援する体制が取られています。
- ◇新しい時代に即した教育基盤が整備され、持続可能な教育体制が確保されています。◇
- ◇児童生徒の安全が確保され、安心して学校生活を送ることができま

### 主要施策

#### ① 個に応じた教育体制の充実【学校教育課、教育総務課、学校給食センター、生涯学習課】

- 児童生徒が社会との繋がりを意識し、社会から認められることで自己肯定感を高めることができる取り組みを行います。
- 児童生徒が社会の中で生きていくのに必要な知識や能力を身に付けることができるよう、基礎学力を定着

させ、主体性を育むため、児童生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導体制を充実します。

- 児童生徒が生涯にわたって健康な生活を送るのに必要な力を育成するため、基本的な生活習慣の確立を図り、給食を通じて、学校における食育の推進を図ります。
- 特別な支援を必要とする児童生徒が、安全な学校生活を送ることができ、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援と指導を受けることができるよう体制を整えます。
- 学校生活になじめない、授業についていけない、など児童生徒が抱える様々な悩みや問題に対し、それぞれにあった解決方法を探すため、保護者を含め支援する体制を整えます。
- 経済的な理由による就学困難な児童生徒を持つ家庭に対し、教育に要する費用を負担し、就学を支援します。

**主な取組** ○小・中学校運営事業 ○小・中学校運営強化事業 ○教育支援センター事業 ○学校給食調理事業 ○高等学校等修学補助事業 ○就学援助事業

**② 地域とともにある教育活動の推進【学校教育課、生涯学習課、教育総務課】**

- 学校が地域と連携・協働し、部活動をはじめとする児童生徒の幅広い学びの活動において、学校支援ボランティアなど、地域、団体等からの協力を得ながら、地域学校協働活動を進めていきます。
- 学校を含めた地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるため、地域が学校の運営に関わる仕組みづくりを進めます。

**主な取組** ○教育振興推進事業 ○家庭教育推進事業 ○社会教育推進事業 ○生涯スポーツ普及事業 ○地域活動学校開放事業

**③ 教育基盤の整備【教育総務課、学校教育課、学校給食センター】**

- 児童生徒が安全に過ごし、安心して教育を受けることができるよう、小・中学校、教育支援センター、学校給食センターの施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、児童生徒数の変化や経年劣化等に対し、計画的に増改築、改修、修繕、更新を行います。
- 教職員の事務や作業の効率化と負担軽減を図り、教員が児童生徒一人ひとりに向き合える時間を増やすため、学校におけるICT環境を整備するとともに、教職員を側面から支援する人的体制を整備します。
- 新たな時代を担う人材として児童生徒の情報活用能力を育成するため、ICTを活用した学習環境を整えます。
- 児童生徒の登下校の安全を確保するため、交通指導員等の人員を配置します。

**主な取組** ○小・中学校管理事業 ○小・中学校維持修繕事業 ○小・中学校整備推進事業 ○小・中学校ICT環境整備事業 ○小・中学校運営事業 ○小・中学校運営強化事業 ○教育支援センター事業 ○給食センター施設・設備維持管理 ○給食センター施設・設備維持修繕事業 ○給食センター施設・設備環境改善事業 ○通学指導事業

## 施策の進捗をあらわすモノサシ

指標		現状値 (2019年度)	目標値	
			2025年度	2030年度
基本指標	小中学校教育の充実に対する満足度(%)	□□%	□□%	□□%
	学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合(%)	□□%	□□%	□□%
個別指標	不登校児童生徒の割合	□□%	□□%	□□%
	教員のICT活用指導力	□□%	□□%	□□%

## 協働の考え方

市民の役割	地域・団体・事業所等の役割
○学校支援ボランティアへの参加をはじめ、一人一人ができる範囲で学校教育を支える活動に参加します。	○各団体の強みを活かした教育支援を行います。

## 関連する計画・条例

- 第2次日進市教育振興基本計画
- 学校経営案
- 第4次4Wプラン
- 第3次日進市食育推進計画

## 掲載予定のデータ・グラフのタイトル

- 児童生徒数の推移(市)
- 不登校、特別支援等の推移(国か県)
- 子どもの自己肯定感の諸外国との比較

## 用語の解説

- ※1 Society5.0:「第5期科学技術基本計画」において提唱された、我が国が目指すべき未来社会の姿。サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。
- ※2 ICT:「Information and Communication Technology」の略で、PCだけでなくスマートフォンやスマートスピーカーなど、さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称。

## 当該施策に該当するSDGs(持続可能な開発目標)17の目標



基本目標5：学びと文化で未来の人財を創る（仮）

**施策24 生涯学習の推進**

～生涯を通じてだれもが自由に学ぶことができる環境を整えます～

**現状と課題【生涯学習課】**

- これまでにない超長寿社会である人生100年時代を迎えるにあたって、全ての世代の市民がいつまでも住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるよう、身近な場所で学び、活かすことができる環境を整える必要があります。
- 子どもが未来に希望を持ってない、自己肯定感が低いといった問題に対応するため、次世代を担う子どもの学習活動を幅広い分野から支えていく必要があります。
- 文化施設の建物や設備の老朽化が進行しているため、計画的に改修や設備交換を行っていく必要があります。

**施策が目標とするまちの姿【生涯学習課】**

◇市民が主体的に学び、学んだことを活かすことができます。

◇地域における生涯学習活動が活発に行われ、次世代の人材が育っています。

**主要施策**

<b>① 生涯学習システムの充実【生涯学習課】</b>	
●生涯学習4Wプランの基本構想に沿った市民の主体的な活動を支援し、市民のニーズに応じた幅広い分野の学習活動機会の提供を行うとともに、学んだことを活かす場の提供を行います。	
主な取組	○社会教育推進 ○生涯学習講座開催
<b>② 地域資源を活用した子どもの学習活動の支援【生涯学習課】</b>	
●地域、団体等と連携し、次世代を担う子どもの学習活動を支援します。	
主な取組	○子ども学習活動支援
<b>③ 文化施設の充実と整備【生涯学習課】</b>	
●市民会館、生涯学習プラザ、ふれあい工房等の生涯学習の拠点となる文化施設について、施設の利用状況・ニーズを踏まえ、老朽化対策を含めた安全で快適な環境の整備を進めます。	
主な取組	○文化施設管理運営及び維持管理
<b>④ 図書館サービスの充実【図書館】</b>	
●幼児から高齢者まで、すべての市民が本を読んで楽しみ、生活の知恵を得て、身体の健康と共に心の豊かさを育み、誰もが親しみやすい「生活の中に開かれた図書館」を目指します。	
主な取組	○レファレンス・サービス ○配本回収 ○図書ネットワーク

## 施策の進捗をあらわすモノサシ

指標		現状値 (2019年度)	目標値	
			2025年度	2030年度
基本指標	学習の場と機会に対する満足度(%)	□□%	□□%	□□%
個別指標	1年の間に生涯学習に取り組んだ市民の割合	□□%	□□%	□□%
	文化施設稼働率	□□%	□□%	□□%
	図書館の市内利用登録者数の割合	□□%	□□%	□□%

## 協働の考え方

市民の役割	地域・団体・事業所等の役割
○市民は「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」を基本とした学習活動に取り組み、活かすことで、住み慣れた地域で生きがいを持って生活します。	○学校・地域・団体等と、生涯学び続けられる環境づくりと学んだことを活かす場づくりに努めます。

## 関連する計画・条例

- 生涯学習4Wプラン(令和3年度改定予定)
- 日進市子ども読書活動推進計画
- 日進市中央公民館条例
- 日進市勤労福祉会館条例
- 日進市生涯学習プラザ条例
- 日進市ふれあい工房条例
- 日進市立図書館条例
- 日進市子ども読書活動推進計画

## 掲載予定のデータ・グラフのタイトル

- 平成26年版 子ども・若者白書(内閣府)「自己肯定感」「将来への希望」
- 図書館利用者数(入館者数)

## 用語の解説

※1 生涯学習4Wプラン:教育基本法及び社会教育法の本質にのっとり、生涯学習に関する施策を具体的に実施するための本市の生涯学習計画。

## 当該施策に該当するSDGs(持続可能な開発目標)17の目標



基本目標5：学びと文化で未来の人財を創る（仮）

**施策25 文化芸術・文化財～歴史・文化に親しめる環境を整えます～****現状と課題【生涯学習課】**

- 様々な分野の文化芸術に親しむ市民が増えており、日々の生活の中で文化芸術を楽しめる環境が求められています。
- 本市の文化振興を図るためには、次代の文化の担い手となる子どもたちが質の高い文化芸術に触れ、体験することのできる環境を整える必要があります。
- 本市の民族、伝統芸能を絶やさないう、市民に価値を発信し、担い手となる人材を育成する必要があります。
- 市民の歴史や風土への関心が低く、将来に渡って文化財を保護していくためには、更なる活用と魅力発信により市民の関心を高める必要があります。

**施策が目標とするまちの姿【生涯学習課】**

- ◇文化芸術活動が活発に行われ、市民が文化芸術に親しんでいます。
- ◇歴史や文化財が継承され、価値や魅力が市民に共有されています。

**主要施策****① 文化・芸術の普及・振興【生涯学習課】**

- 市民の多様な文化芸術への関心の高まりに応え、幅広い世代に向けた文化芸術事業を実施します。
- 子どもが多様な質の高い文化芸術に触れ、体験できる機会を提供します。

主な取組	○文化推進事業
------	---------

**② 伝統芸能の継承【生涯学習課】**

- 地域に伝承されている無形文化財の保存と継承のために、人材育成と保存活動を支援します。

主な取組	○文化財保護事業
------	----------

**③ 郷土の歴史の継承と文化財の保護活用【生涯学習課】**

- 文化財や歴史資料を後世に伝えるために、市指定文化財や岩崎城歴史記念館・旧市川家住宅等施設の適切な保護・管理を行うとともに、施設を活用することにより地域の魅力づくりにも貢献します。

主な取組	○文化財保護事業 ○岩崎城歴史記念館維持管理事業
------	--------------------------



## 施策の進捗をあらわすモノサシ

指標		現状値 (2019年度)	目標値	
			2025年度	2030年度
基本指標	市内での生活で文化芸術を身近に感じている市民の割合(%)	□□%	□□%	□□%
個別指標	文化芸術活動に参加している市民の割合(%)	□□%	□□%	□□%
	市内の指定文化財を知っている市民の割合(%)	□□%	□□%	□□%

## 協働の考え方

市民の役割	地域・団体・事業所等の役割
○市民は自主的に文化・芸術活動に参加します。	○文化・芸術に親しみ、気軽に参加することができ、楽しめる環境を整えます。

## 関連する計画・条例

- 生涯学習4Wプラン(令和3年度改定予定)
- 日進市文化財保護条例
- 岩崎城歴史記念館条例
- 日進市旧市川家住宅の設置及び管理に関する条例

## 掲載予定のデータ・グラフのタイトル

- 日進市環境基本計画アンケート②環境満足度、環境重要度「歴史・文化環境」

## 用語の解説

## 当該施策に該当するSDGs(持続可能な開発目標)17の目標



基本目標5：学びと文化で未来の人財を創る（仮）

**施策26 生涯スポーツ～ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します～****現状と課題【生涯学習課】**

- 全ての世代の人がスポーツをすることで、生涯を通じて楽しく健康で生き生きと過ごせるよう、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進と環境整備が必要とされています。
- 子どもが自由に外で遊ぶ機会が減り、基礎的な運動能力の底上げが必要とされている状況の中、子ども達が興味を持てるスポーツイベント等が必要とされています。
- 愛知県で開催される2026年アジア競技大会を含め国際的なスポーツイベントの国内開催が多く予定されています。人々のスポーツへの関心が高まるのを契機として、市民のスポーツ活動を促進するため市のスポーツ大会やイベントの充実を図る必要があります。
- 本市にはスポーツ関係団体があり、それぞれの団体が目的に応じた活動を行い、本市のスポーツ振興の一翼を担っています。スポーツ振興には、これらのスポーツ関係団体のさらなる発展が不可欠です。
- 総合運動公園などスポーツ施設の経年劣化による老朽化が目立ち始めるとともに、施設のバリアフリー化や機能の充実が求められています。
- 誰もが気軽に活動しやすいように、地域の公共的な施設を活用して行うスポーツ振興が必要とされています。

**施策が目標とするまちの姿【生涯学習課】**

◇全ての世代の市民が気軽にスポーツを楽しんでいます。

**主要施策****① 生涯スポーツの普及・振興【生涯学習課】**

- スポーツ大会や講座等を実施し、子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめるような環境づくりを進めます。
- 子ども達が多種多様なスポーツに興味を持てるようトップレベルの選手から直接指導を受けることのできる機会の創出や多様化するスポーツニーズに対応できる環境づくりを進めます。
- 2026年に愛知県で開催されるアジア大会に向け、関連スポーツイベント等を開催しスポーツ人口の拡大に努めます。

<b>主な取組</b>	○スポーツ大会開催事業、○生涯スポーツ普及事業
-------------	-------------------------

**② スポーツ団体等の活動支援【生涯学習課】**

- 本市のスポーツ振興の一翼を担っている市内スポーツ団体との連携体制を強化し、団体の支援・育成や指導者の育成を通じて市のスポーツ振興を推進します。

●コンソーシアム※1の形成などにより、大学や企業と連携することで、スポーツ課題の解決を図ります。	
主な取組	○生涯スポーツ普及事業
<b>③ スポーツ関係施設の充実と有効活用【生涯学習課】</b>	
●総合運動公園など各スポーツ施設の従来の特徴を活かしつつ、より幅広い世代に親しまれるような魅力的な施設となるよう整備を図ります。	
●学校施設や公民館を活用して、地域に根差したスポーツ振興を図ります。	
主な取組	○スポーツ施設管理運営事業○スポーツ施設維持管理事業○学校体育施設スポーツ開放事業

## 施策の進捗をあらわすモノサシ

指標		現状値 (2019年度)	目標値	
			2025年度	2030年度
基本指標	週に1回以上スポーツを行う市民の割合(%)	□□%	□□%	□□%
個別指標	各スポーツ団体所属者数	□□人	□□人	□□人
	スポーツ施設稼働率	□□%	□□%	□□%
	スポーツイベント参加者数	□□人	□□人	□□人

## 協働の考え方

市民の役割	地域・団体・事業所等の役割
○市民は心身ともに健康的な生活を送れるように、意識的に体を動かす機会を創出し健康維持に努めます。	○各スポーツ団体は生涯スポーツ、競技スポーツの指導者を育成し各スポーツ人口の拡大に努めます。 ○市民に運動する機会を提供するよう努めます。

## 関連する計画・条例

- 生涯学習4Wプラン(令和3年度改定予定)
- 総合運動公園再整備計画

## 掲載予定のデータ・グラフのタイトル

○児童生徒の体力の状況(スポーツ庁 令和元年12月)

## 用語の解説

※1 コンソーシアム: 共同で何らかの目的に沿った活動を行う、2つ以上の個人や団体からなる共同事業体。

## 当該施策に該当するSDGs（持続可能な開発目標）17の目標

